

朗読と音楽の調べ

朗読

田村 英一

(元・北海道放送アナウンサー)

ギター演奏

佐藤 洋一

(ギタリスト)

朗読作品(予定)

有島武郎原作・翻訳作品

「親子」

「神」

モーパッサン原作

「死んだ女」

演奏作品(予定)

フランシスコ・ターレガ作曲

「アルハンブラの思い出」

クロード・ドビュッシー作曲

「月の光」

イサーク・アルベニス作曲

「アストウリアス」 ほか

2015年

2月21日(土) 開場13:30 開演14:00

有島記念館アートホール

常設展観覧料のみで入場できます

[大人500円、高校生100円、中学生以下・65歳以上のニセコ町民は無料]

詳細については、有島記念館公式ホームページをご覧ください、
電話(0136-44-3245)にてお問い合わせください。



主催 ニセコ町・有島記念館

演奏者プロフィール



田村 英一 朗読

札幌出身。フリーアナウンサー。大学在学中は、演劇活動に取り組む。大学卒業後の1973年に北海道放送(HBC)入社。アナウンサーとして、「テレポート6」をはじめとした多くの報道番組やドキュメンタリー番組のナレーションを担当し、北海道民に広く知られている。近年は各地で朗読イベントに参加して、活躍の舞台を広げている。

有島記念館には、平成24年度の「朗読と音楽の調べ」に初めてご出演いただいて以来、今回が3回目のニセコ公演となる。また、過去2回はチェンバロ奏者・明楽みゆきさんとのコラボレーションであったが、今回は各地の朗読活動でコンビを組んでいる、ギタリスト・佐藤洋一さんとの組み合わせが当地で実現することになる。



佐藤 洋一 ギタリスト

1987年、ドイツ・アーヘン音楽大学ギター演奏科を卒業する。ドイツ滞在には、ドイツをはじめベルギー、ルクセンブルグなどで演奏活動を行う。同時に、ヨーロッパ各地の夏期講習会などでマヌエル・バルエコ、アベル・カルレバーロ、ホセ・ルイス・ゴンザレスなどに師事する。帰国後は独奏やアンサンブルなどの演奏活動のほか、レッスンなどを通して後進の指導に当たる。ギターは国内においては鈴木巖氏に、アーヘン音大では佐々木忠氏に師事している。平佐修氏とギターデュエット「あこるとデュオ・さっぽろ」でCD「汽車に乗って」と「案山子の夢」をリリース。

有島記念館

〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島 57 番地

電話番号：0136-44-3245

観覧料：一般 500 円、高校生 100 円

開館時間：9：00～17:00(入館は 16:30 まで)

休館日：月曜日(5月-9月は無休)、年末年始

展示案内

荒川好夫写真展「北海道 冬

～蒸気機関車 C62 栄光の記録」

有島記念館特別展示室にて2月22日まで開催
常設展観覧料のみでご覧いただけます。